

第4学年 社会科学習指導案

日 時 令和元年10月4日(金) 公開授業Ⅱ
児 童 3組(男18名 女16名 計34名)
指導者 矢野 崇

1 単元名 「自然災害からわたしたちの暮らしを守る」(あたらしいきょうど岩手 P146~169)

2 単元について

(1) 教材について

本単元は、新学習指導要領で示された第4学年(3)自然災害から人々を守る活動について学習する単元である。地域の関係機関や人々が自然災害に対して様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し様々な備えをしていることを理解すること、聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりしてまとめること、過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現することが目標となっている。

本単元では、はじめに岩手県で過去に発生した東日本大震災の地震・津波災害を筆頭に、台風による風水害、豪雪などを中心に取り扱い、自然災害の被害が、暮らしにどのような影響があるのかを考えていく。その中で、具体例として岩泉町の台風による豪雨災害を取り上げ、災害の被害の様子から救助、復旧での関係機関の連携、次に備えた防災の活動、という順序で学習を進めていく。防災の活動の学習では、初めに施設面での備えや災害情報の伝達などについての取組など、公助としての活動、そして自主防災組織などの共助、さらには自助について学んでいく。最後に、学習したことを生かして、自分たちができることを考え、表現していく活動をする。

(2) 児童の実態

5月に実施したアンケートによると、社会科が好きかという質問に対し、本学級の児童は「とても好き」「好き」が合わせて9割以上と、社会科が好きな児童が多い。特に、「調べること」についてはほぼ全員が好きだと回答している。しかし、一方で「考えを文で表すのは好きか」という設問になると4割の児童が「好きではない」と答えている。授業の様子からも、提示する資料に興味をもって読み取ったり、新しいことを知りたいという意欲をもって話を聞いたりしているが、ノートにまとめることが苦手な児童が多いと感じる。また、よい考えをもっていても発言に消極的な児童もおり、話し合いで考えを深める部分には課題がある。

自然災害や防災に関しては、これまで復興副読本を活用した学習で、東日本大震災の様子や復興について概要を学んでいる。また、有事の際の対処という観点では、警察や消防の学習で緊急の連絡を受けた場合に関係機関と連携して対処していることを学んでいる。ただ、その知識も断片的なものであったり、他人事として漠然と理解しているにとどまっていると思われる。

そこで、普段からのノート指導や、話し合いの指導を意識して行うほか、本単元では、児童の興味関心を喚起できるように、実際に取材して集めた具体的な写真や映像などの資料を提示することで、より主体的に学習問題を解決しようという意欲を高めていきたい。そして、書いてまとめることや発言することの意欲にもつなげていきたい。

(3) 指導にあたって

本単元の指導にあたり、最も大切にしたいのは、学習する社会的事象を自分事としてとらえさせることである。身近な地域から始まる社会科の学習だが、学年が上がるにつれ、内容がより全体的・包括的になり、自分たちの生活とのつながりが見えにくいところが増えてくる。本校4年生では、4月から新聞記事の感想を書く活動に取り組み、自分のことと結び付けて感想を書く指導をしてきた。また、社会科の授業では、調べてわかった内容に自分の感想も付け加えるように指導している。そうして、自分事として捉えたり、自分の考えをもったりすることにつなげていきたいと考える。

第1次は、県内の災害の様子を捉える。ここでは、自然災害にはさまざまな種類があることと、それによってわたしたちの暮らしに大きな影響があることを確かめながら、児童の基本的な知識を揃える時間にしたい。そして第2次は、具体的な事例をもとに防災について学ぶ時間である。ここでは、わたしたちが住む盛岡市中野地区でも起こりうる事例として、岩泉町の台風豪雨被害の事例を取り上げる。学校のすぐそばを流れる築川流域の水害に関するハザードマップを提示し、自分たちの地域と結びつけて考えることができるように指導したい。その上で、岩泉町が防災に取り組んでいる事例を学ぶ中から、自分たちでも災害に備える意識をもつことの重要性に気付かせ、自然災害からわたしたちの暮らしを守るためには、公助だけではなく、自助や共助の重要性も考えさせていきたい。その上で第3次は、学習したことを生かし、自分たちができることを考え、表現する活動を通して、防災の意識、社会参画の意識を高めていきたい。

3 単元の指導計画

(1) 目標

自然災害から人々を守る活動について、過去に発生した岩手県の自然災害や関係機関の協力などに着目して、聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりしてまとめ、災害から人々を守る活動を捉え、その働きと関連付けて考え、岩手県の関係機関や人々は自然災害に対し様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し様々な備えをしていることを理解することができる。

(2) 評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考力・判断力・表現力	観察・資料活用の 技能	社会的事象についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none">自然災害から人々を守る活動や対策について意欲的に調べようとしている。自然災害による自分たちの生活の安全を守るために、できることや行動の仕方を考え、生活の中で取り組もうとしている。	<ul style="list-style-type: none">自然災害から人々を守るための活動や対策などについて追究するために、それらに必要な学習問題や予想、学習計画を考えている。自然災害を防ぐための対策や関係機関の協力と、わたしたちの安全な生活とを関連付けて考え、自分自身の安全を守るための行動の仕方を考え、表現している。	<ul style="list-style-type: none">見学・聞き取り調査を行ったり、資料を活用したりして、自然災害から人々を守るための対策や備えについて必要な情報を読み取り、それらを適切な方法でまとめる技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none">自然災害から人々を守るための活動は、様々な工夫や努力、関係機関や人々の協力によって行われていることを理解するとともに、その活動や事業に携わっている人々の働きについての知識を身に付けている。自然災害から人々を守るための対策は、計画的・協力的に進められており、地域の人々の安全な生活につながっていることについての知識を身に付けている。

(3) 知識の構造図



(4) 単元の指導計画 (全9時間)

指導過程	時	ねらい	○主な学習活動 【見方・考え方】	主な評価規準 (方法)
第1次	1 岩手県の自然災害	岩手県では、これまでに様々な自然災害が起こっており、大きな被害をもたらしていることに気づき、自然災害がわたしたちの暮らしに与える影響について考えることができる。	○岩手県内で発生した自然災害の写真をもとに、自然災害がわたしたちの暮らしに与える影響について話し合う。 【視点3 事象や人々の相互関係～自然災害がわたしたちの暮らしに与える影響】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">岩手県では、どのような自然災害が起こってきたのだろう。</div>	【思】岩手県内でこれまで発生した自然災害や被害の様子について知り、自然災害がわたしたちの暮らしに様々な影響を与えていることを考えている。(発言、ノート)
第2次	2 岩泉町の豪雨災害の被害の様子 (本時)	豪雨災害が発生した時の様子や被害状況などについて調べ、自然災害から人々を守る活動や対策について関心をもつことができる。	○岩泉町での豪雨災害の被害について調べ、自然災害から人々を守る活動や対策について話し合う。 【視点3 事象や人々の相互関係～豪雨災害が人々の暮らしに及ぼす影響】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">豪雨によって、岩泉町ではどのようなひがいにあったのだろう。</div>	【関】自然災害から人々を守る活動や対策について、調べたいことを意欲的に考えている。(発言、ノート)
<ul style="list-style-type: none"> ・岩泉町では、災害が起きたときにどのような活動をしたのだろう。 ・岩泉町では、これからの災害に備えてどのようなまちづくりをしているのだろう。 ・災害に備えて、わたしたちができることは何だろう。 				
	3 豪雨災害時の連携した対処	豪雨災害が発生した時、人々を守るために誰がどのような活動をしているかを理解することができる。	○豪雨災害発生時に、誰がどのような支援を行っているのかを調べ、関係機関のはたらきや連携について知る。 【視点3 事象や人々の相互関係～災害支援をする関係機関の相互の関わり】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">豪雨災害が起こった時、人々を守るために、だれがどのような活動をしたのだろう。</div>	【知】災害が発生した時、人々を守るために関係機関が連携して救助や支援していることを理解している。(発言、ノート)

<p>4 岩泉町の防災 の取組① ～施設面の備 え</p>	<p>今後想定される豪 雨被害に備えて、岩 手県や岩泉町ではど のような施設や事業 などの対策をしてい るのか理解すること ができる。</p>	<p>○豪雨災害を防ぐための岩手県や 岩泉町の施設や事業について調 べ、自然災害に強いまちづくり をしていることを知る。 【視点3 事象や人々の相互関係 ～自然災害に対する対策とそれ によって守られる人々の暮らし の関係】</p> <div data-bbox="719 593 1147 710" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>豪雨被害を防ぐために、岩手 県や岩泉町では、どのような対 策をしているのだろうか。</p> </div>	<p>【知】今後想定され る豪雨被害に備え て、岩手県や岩泉町 では施設面の整備と 避難体制の強化の両 面から対策をしてい ることを理解してい る。(発言、ノート)</p>
<p>5 岩泉町の防災 の取組② ～情報伝達の 工夫</p>	<p>今後想定される豪 雨被害に備えて、岩 手県や岩泉町ではど のように防災に関す る情報を伝えている のか調べることがで きる。</p>	<p>○豪雨災害から暮らしを守るため の情報を、岩手県や岩泉町では どのように伝えているのかを調 べ、その早さや内容についてま とめる。 【視点3 事象や人々の相互関係 ～県や市町村が発信する情報と それによって守られる人々の暮 らしの関係】</p> <div data-bbox="719 1182 1147 1337" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>岩手県や岩泉町では、豪雨災 害から人々の暮らしを守るた めの情報を、どのように伝えて いるのだろうか。</p> </div>	<p>【技】岩手県や岩泉 町では、豪雨災害か ら暮らしを守るため に、情報ネットワー クを整備し防災メー ルなどで必要な情報 を素早く伝えている ことを資料から読み 取っている。(発言、 ノート)</p>
<p>6 岩泉町の防災 の取組③ ～共助・自助</p>	<p>地域や学校などで の自然災害から暮ら しを守るための取組 を調べ、防災で大切 なことを考える。</p>	<p>○地域における豪雨災害を防ぐた めの取組について調べ、共助や 自助の役割についてまとめる。 【視点3 事象や人々の相互関係 ～公助に対する共助・自助の役 割】</p> <div data-bbox="719 1682 1147 1832" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>豪雨災害から暮らしを守る ために、岩泉町の人々は、ど のような取組をしているのだろ う。</p> </div>	<p>【思】岩泉町の学校 や地域での取組か ら、防災には共助や 自助が大切だとい うことを考えている。 (発言、ノート)</p>

第3次	7, 8, 9 自分たちでできること	自然災害からわたしたちの命や安全な生活を守るために、自分ができることについて考える。	○これまでの岩泉町の学習を振り返り、自然災害からわたしたちの命や安全な生活を守るために、自分ができることについて話し合い、自分の考えを防災マップなどの形でまとめる。 【視点3 事象や人々の相互関係～防災への取組と自分たちの暮らしの関わり】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">自然災害に備えて、わたしたちができることは何だろうか。</div>	【思】自然災害からわたしたちの命や安全な生活を守るためには、関係機関の協力や対策とともに、共助や自助の意識を高めながら生活することが大切であると気づき、自分自身が取り組めることを考えて表現している。 (発言, ノート)
<ul style="list-style-type: none"> ・岩泉町では、災害が起きたときに関係機関が協力して救助や支援、復旧作業などを行った。 ・岩泉町ではこれからの災害に備えて、被害をへらすための施設をつくったり、素早く避難できるように連絡する仕組みを整えたりしている。また、自分たちで命を守るための取組も行っている。 ・災害に備えて、共助や自助の意識を高めながら生活することが大切である。 				

4 本時の指導 (2 / 9)

(1) ねらい

豪雨災害が発生した時の様子や被害状況などについて調べ、自然災害から人々を守る活動や対策について関心をもつことができる。

(2) 研究内容にかかわって

【内容②】指導方法の工夫

- ・ 単元の学習問題をつくる場面で「町をもとに戻せばそれでいいのですか」と揺さぶる発問をし、これからの自然災害について対策をしていることを気付かせる。
- ・ 学習問題を作る場面では、疑問を出し合うだけでなく、それに対する予想も話し合うようにして、より具体的な話し合いができるようにする。

【内容③】資料活用の工夫

- ・ 岩泉町役場の方の話を映像で視聴し、実際の人の思いを感じることで、自然災害から人々を守る活動や対策についての課題意識を高める。
- ・ 中野小学校のそばを流れる築川の写真やハザードマップを提示することで、豪雨災害を自分事としてとらえさせる。


(3) 展開

段階	学習活動【見方・考え方】	指導上の留意点	資料等 ◇評価
<p>問題の把握</p> <p>5分</p>	<p>1 前時の学習内容を想起する。</p> <p>2 学習内容について知る。 (1) 今回は岩泉町の豪雨災害について学習することを知る。 (2) 被害にあった町中の写真を見て、気付いたことを話し合う。</p> <p>3 学習問題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 豪雨によって、岩泉町ではどのようなひがいにあったのだろう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・岩手県ではいろいろな災害が起きていることを振り返る。 ・初めに岩泉町の概要を簡単におさえる。 ・大きな災害であること、台風による豪雨で川の水があふれたことを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・壁面掲示（既習事項） ・岩手県の地図 ・被害の様子の写真
<p>問題の追究</p>	<p>4 学習問題に対する予想をする。 ・人が亡くなったり建物が壊れたりした。 ・生活できなくなる。</p> <p>5 学習問題について調べ、わかったことを発表し合う。 (1) 写真や統計資料から被害の様子を読み取る。 ・たくさんの人がなくなった。 ・多くの建物が被害を受けた。 ・家が壊れて住むところがない。 ・道路が壊れて、買い物や仕事に行けない。 【視点3 事象や人々の相互関係～豪雨災害が人々の暮らしに及ぼす影響】 (2) 役場の方のお話から被害の様子を知る。 ・自然災害はまたくる。 ・災害に強いまちにしたい。</p> <p>6 調べて分かったことから、単元の学習計画を立てる。 (1) 災害が起きた後のことを予想し、学習の流れをとらえる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・川の水があふれると、何が起きるか予想させる。さらに、家が壊れるとどうなるか、道路が通れなくなるとどうなるか、なども想像させたい。 ・被害を写真や数字で確かめることで、改めて被害の大きさをとらえる。また、家と道路の破損により、生活上でどのような困難があるのか確かめる。 ・映像で生の声を伝えることで、町の人々の思いが感じられるようにしたい。【内容③】 ・映像で聞いた町の人々の思いをもとに、復旧をするだけでなく、さらに災害に強い町づくりをしていくのではないかと予想をもたせる。【内容②】 	<ul style="list-style-type: none"> ・被害の様子の写真 ・町役場の方のインタビュー映像

(4) 板書計画

< 黒板 >

平成 28 年 台風 10 号豪雨



被害の写真①

- ・がれきの山
- ・水びたし

岩泉町

- ・人口や特色など

豪雨によって、岩泉町ではどのような
なひがいがあったのだろう。

< わかったこと >

被害の写真 ② 被害の写真 ③

- ・住めない
- ・通れない

× 買い物や仕事
× 食料や生活用品
× 農業や観光業
くらしに大きなえいきょう

孤立集落
(孤立世帯)

どのように
救助したか
町を直したか

被害前の
写真
もとの町に

災害に備えて
どのような工夫
をしているか

？
災害に
強い町に！

単元の学習問題

- ・岩泉町では、災害が起きたときにどのような活動をした
のだろう。
- ・岩泉町では、災害に強いまちにするために、どのような
工夫をしているのだろう。
- ・災害にそなえて、わたしたちができることは何だろう。

< 予想 >

- ・人が亡くなった
- ・家がこわれて住めない
- ・道路がこわれて
生活ができない

岩泉町役場の浦場さんの話

- ・自然災害はまた来る
- ・災害に強いまちにしたい

平成 28 年の大雨によって、岩泉町ではたくさんの人が
なくなったり、家や道路がこわれたりして、今まで通りく
らせなくなりました。
わたしは、

< 補助黒板 >

わたしたちの中野では・・・

大雨が降った時の
築川の写真

中野小周辺の
洪水のハザードマップ